

山燃える紅葉の秋、関係各位におかれましては、ご健勝にてますますご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃は本法人のカンボジア支援活動に絶大なるご協力ご支援を賜り、衷心よりお礼を申し上げます。



上半期の事業もほぼ計画通り、以下の通り展開してきています。

◇本年度第1回のカンボジア訪問においては、運動会普及事業第2弾として、シェムリアップ州教員養成学校において運動会を開催しました。バイヨン中学校と比べると練習時間はずいぶん短かったものの、さすが教員を目指す学生集団、要所にクメール文化の薫り高い音楽や踊りを取り込み、スポーツと伝統文化を融合した特異な運動会が実現できました。次回1月の第2回運動会の創造にますますの期待が膨らむところです。◇第4回カンボジア王国シェムリアップ州教員研修招聘事業(9月7日～14日)は、連日笑顔と感動の連続。私たち日本人にとってはごく当たり前も、使節団員にとって感動の対象。雲に煙る連山の景色は、もっとも印象深い日本の風景となりました。また、校長室に居並ぶ歴代校長の写真は、日本の学校教育の厚みと充実ぶりを印象付けるものになっていました。◇9月21日には、コンテナ輸送事業を実施し、支援者の皆さんからのコンテナ満載の寄贈品に加えて、共に生きる地球市民としての愛情もドッサリ詰め込むことができました。8,800余点の品々が、ますます絆を深めるものになることを期待しつつ。



◇10月には、2会場に於いて「カンボジア子ども絵画展」を開催。出展作品は、カンボジア在住笠原知子氏主宰の「小さな美術スクール」で学ぶ子どもたちもの。描くことへの情熱を、カンボジアから逆輸入した絵画展となりました。

(カンボジア支援者の集い開催の経緯)◇カンボジア王国シェムリアップ州バイヨン中学校開校の2013年度以降、本法人では広く支援者一般募金を募集し、それらを一部原資としてカンボジア支援活動を展開してきました。その支援への中心は、バイヨン中学校の学校施設建設及び授業や運動会の実施に関わる教材教具等の購入費用、さらにバイヨン中学校校区内の小学校や地域コミュニティーでの給食事業費として使わせていただきました。◇支援によって建設された立派な学校施設に後押しされるように、ルー校長以下職員の努力により日々充実した教育活動が展開されてきています。通常の教育内容に加え、本校の特長的な教育活動として水・ゴミに関わっての環境教育、体育授業の集大成としての運動会の実施、生徒会組織の立ち上げと生徒の自主的活動・奉仕活動のなど、これら教育活動の評価が評判を呼び、生徒数も年々増加の一途、2016年度は全校生徒470名を数えるまでに成長しています。◇時を得て、たまたま一宮商業高校・一宮中央ロータリークラブの招待で愛知を訪問中の、本法人カンボジアカウンターパートのJST代表チア・ノル氏及びバイヨン中学校ルー校長との日程も調整がつき、10月29日、日本・カンボジア両国関係者各位をお迎えしての「カンボジア支援者の集い」を開催することができました。感謝！！



2013年度募金額 2,183,993円
2014年度募金額 1,162,604円
2015年度募金額 982,480円
2016年度(現在) 215,800円

☆寄贈品 20フィートコンテナ2台分(約1万5千点)他
☆カンボジア教員研修招聘事業訪問校: 田口小 名倉小 竹島小
蒲郡西部小 蒲郡南部小 設楽中 東栄中 形原中 蒲郡中
三谷中 中部中 南部保育園 みあい特別支援学校 愛知教育大学